

第4回医療機器サイバーセキュリティ協議会のご案内

2020年10月吉日

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第4回医療機器サイバーセキュリティ協議会を下記のとおり開催することとなりました。ご多用のところ恐縮に存じますが、何卒ご参加賜りますようお願い申し上げます。

本協議会は2019年9月に第1回として医療機器メーカー、セキュリティベンダー、医療機関、関係府省の方々の出席により、病院におけるセキュリティの課題、医療機器におけるセキュリティ対策、運用の課題、またそれに対して考える対策など活発に議論され、提供する側、利用する側、それぞれの問題が浮き彫りとなりました。医療機器もスマート化が進む中、医療分野におけるセキュリティは更に意識しなくてはなりません。この協議会が医療機器のセキュリティレベルの向上だけでなく、利用者も考慮したレベル向上に少しでもお役立ちできるよう議論、啓発の場となることを期待しています。

敬具

記

1. 日時

2020年10月28日（水） 14:00～16:00

2. 場所

オンライン実施（Teams）

※ 会議用 URL はご参加表明いただいた際に個別にご連絡いたします。

3. 議題

- 医療機器セキュリティに関してのレギュレーションについて
- 医療機器セキュリティの課題について
- 群馬大学医学部附属病院のサイバーセキュリティ取り組みご紹介
- 今後の取り組みについて（意見交換）
- その他ご連絡

4. お問い合わせ先（事務局）

株式会社日立製作所 産業・流通営業統括本部 洪 千奈津

E-Mail: chinatsu.ko.xq@hitachi.com

なお、お手数ではございますが、会議の出欠を10月26日（月）までに、事務局へご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

以上

医療機器サイバーセキュリティ協議会について

2020年1月24日

1. 背景

東京2020を控え、サイバー攻撃の標的としても日本への注目が高まっています。中でも、医療情報の価値の高まりやサイバー攻撃技術の進化を受け、医療機関に対するサイバーテロやサイバー攻撃が懸念されており、今やサイバー攻撃インシデントが最も多く報告された業種として、医療機関が挙げられています。さらに、欧米では医療情報システムだけでなく、実際の臨床現場に設置される医療機器を踏み台にした標的型攻撃も報告されています。

2. 趣旨

医療機関を標的としたサイバー攻撃から、医療の安全性をはじめ、医療情報や医療継続性を守るためには、医療情報システム、医療機器など医療機関に存在するIoT機能を有するすべての機器を含めたシステムを想定したリスクコントロールが必要となります。そのためには、医療機関、セキュリティベンダー、医療機器ベンダーそれぞれが積極的に脅威分析やサイバーリスク分析に基づく情報を共有していく必要がありますが、現状、そのリスクコミュニケーションをするための枠組みが存在しません。

そこで、本座談会ではセキュリティベンダーと医療機器ベンダーが中心となり、3軸の協調関係を築くためのボトルネックを洗い出し、医療機器ベンダーが果たすべき役割を考え、それぞれの立場でのリスクや対応についての課題認識等を共有し活発に議論を行うことで、今後のあり方や活動について何らかの共通認識が得られればと考えています。

3. 設立

2019年9月

4. 発起人

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 理事・セキュリティ委員会委員長 板東 直樹

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 三木 剛

トレンドマイクロ株式会社 松山 征嗣

株式会社神戸デジタル・ラボ 近藤 伸明

オリンパス株式会社 情報セキュリティ統括 フェロー エバンジェリスト 鈴木 克明

以上